

LikePot小郡 放課後等デイサービス 事業所における自己評価表

※無回答・複数回答あり。

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・ 体制 整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	4	3		利用人数が多くなるとトラブルが起きやすく、落ち着けない児童もいる。	1つの部屋に人数が集中しないよう、活動の振り分けや促しを行い安全第一で進めていく。
	②	職員の配置数は適切である	4	4		・1人で遊べる児童は、どうしても対スタッフと関わりを持つ機会が少なくなってしまう。 ・部屋に対して最低1人は入れるように。	支援前にスタッフ配置まで決めているが、その通りに行かない場合はお互い声を掛け合い、子どもが1人にならないよう気を付ける。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	2	4	2	入口（玄関）に階段あり。	現在問題ないが、利用児童により手すり等検討していく。
業務 改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	6	1		カンファレンスへの参加。	終礼にて毎日振り返り、再目標設定をしている。情報共有も行っている。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	5				
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	1	1	分からない。	毎年行っている。スタッフ全員に情報共有を行う。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	1	2	・しているのか分からない。 ・他事業所に報告、相談をしている。	外部評価は現在ないため、検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	7			・外部、内部共に充実していると思う。 ・支援の質を向上するための研修を月1回実施できている。	
適切 な 支 援 の 提 供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	6				
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	3	2	1	話すことはあってもフォーマットがしっかりあるのか…	記録をさかのぼって実施している。アセスメントツール自体は今後より分かりやすいものに整備していきたい。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っている	6				
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	6			季節の運動遊びなどを取り入れている。	
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	5	3		・計画書をもとに支援はしているが… ・“絶対できるもの”を提供していることが多い。難易度調整など、もう少し細やかに行えたらと思う。	企画の段階から個別でより細やかな目標設定できるように進めていく。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	5	2		・集団活動がメイン。 ・個室などで対応。	きめ細やかに活動計画を策定していく。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の内容や役割分担について確認している	6	2		・業務割で確認している。 ・打ち合わせているが、情報共有が不足し、バタバタすることも。もう少し円滑なコミュニケーションが行っていかれたらと思う。 ・スケジュール実行表で確認。	勤務時間がバラバラではあるが、朝礼を実施し支援開始前に情報共有を行う。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	8			・終礼を行い、出勤していないスタッフも見直すことができるようにトークノートにあげている。 ・共有しているが、もう少し意見交換の機会を増やせたらと思う。	
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	6	1		・曖昧な表現をしてしまうこともある。もう少し詳細に記載できたらと思う。 ・情報共有システム。	
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	6				
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っている	1	4		・ガイドラインをよく知らないため、これから学んでいければと思う。 ・分からない。	スタッフ間で、ガイドラインの確認を行い、アセスメント・個別支援計画書作成の際に、意識して取り入れていきたい。

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	6				
	㉑ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っている	6	1		学校と直接よりも保護者の方に協力してもらっている部分もある。	
	㉒ 医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	2	3	1	・特にケアが必要な利用者がいない。 ・医的ケアが必要な子どもがいない。	
	㉓ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	2		・もう少し密な連携を行いたい思いはある。 ・努めたいが、相手側から必要ないと言われることがある。 ・児発とは情報共有できている。	サポートブックを頂くこともある。必要な際には、担当者会議の実施や計画相談へ情報提供を求めなど行っていく。
	㉔ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	3	1	1	・携わったことがなく、よく分からない。 ・関わっていない。 ・なかなか声が掛からず、情報提供する場がない。	担当者会議の中で、障害福祉サービスへの移行の際には情報共有を行っている。必要に応じて書面などでお渡ししている。
	㉕ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	1	1		必要に応じてセンターの見学や情報共有を行っていく。
	㉖ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある		2	5	コロナ以降、なかなかない。	現状ないため、どのような形で実現するのか模索していく。
	㉗ （地域自立支援）協議会等へ積極的に参加している	3	2	2	私は行っていない。	管理者や一部のスタッフが参加してる。情報共有を図りたい。
	㉘ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7				
	㉙ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	1	3	2	自身が行えているかは自信がない。	ペアレントトレーニングについて、研修を行い実践していく。
保護者への説明責任等	㉚ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	4	1		関わっていない。	管理者、児童発達管理責任者が実施している。
	㉛ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	6			知識、経験を重ね、良い支援を行っていけたらと思う。	
	㉜ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	5	1	1	・ファミラボを実施している。 ・関わっていない。	・ファミラボを保護者会と位置付けしている。 ・年2回程度保護者同士の交流会や研修等設けている。
	㉝ 子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	6	1		苦情はないが、体制はある。	小さな要望からやりとりができる保護者との関係作りに努めたい。
	㉞ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	6				
	㉟ 個人情報に十分注意している	7				
	㊱ 障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	7			PECS。	
	㊲ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	2	4	分からない。	どのような形で実現できるか模索していく。

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	③⑧ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	6		1	マニュアルの策定及び研修は法人研修で行っている。	今後保護者への周知を検討していく。
	③⑨ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	6		1	年2回ほど、火災の避難訓練を行っている。	参加したことのないスタッフに関しては、出勤調整して参加してもらう。
	④⑩ 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	7				
	④⑪ どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し理解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	2	3		・計画書に明確に書かれているのか分からない。 ・対象者なし。	支援内容を再度検討し、やむを得ない場合は、書面にて保護者へ説明・承諾を得ていく。
	④⑫ 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	3	3		・食物アレルギーの児童がいない。 ・対象者はいないが、契約時に必ず確認。	アレルギー、医療面で留意が必要な児童は、別紙で対応方法や緊急時の対応を作成している。
	④⑬ ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	7			・情報共有システムで確認。 ・会議での共有。 ・毎日確認。	